連載 四月

レンズを通して

高円宮妃久子殿下

写真・文

サルスベリ、サルスベリから日本を経て、韓国、中国東南部に分布。留鳥だが北海道では夏鳥。花の蜜や果実などが好きで、梅桜や椿の花を良く訪れる。

椿の花びらにはメジロの付けたツメの跡がたくさんの残っている。

メジロ

12センチメートル

メジロ科

fg1804_023025taka1a.indd   23
2018/02/13   19:29
花と鳥
写真文 高円 宮妃久子

春は花の美しい季節です。そこで花と鳥の写真をご紹介しようと考え、幾度も撮影したものです。特に鳥が一緒に撮影できました。特に花の蜜をもとめている写真は極わずかかもしれませんが、特に桜の木を訪れる花鳥はあります。桜の花を楽しみに訪れている花鳥を見ると、いつも写っているのは梅や桜の木を訪れる花鳥です。季節も春に限られているのですが、特に花の蜜をもとめる花鳥を見ることができたとありがたいですね。日本には花鳥が一緒にいることがないのはなぜでしょう。ここ数年、野外では一年を通して花を集める鳥の姿が見られました。特に春の花鳥が一緒にいることがないのはなぜでしょう。ここ数年、野外では一年を通して花を集める鳥の姿が見られました。特に春の花鳥が一緒にいることがないのはなぜでしょう。ここ数年、野外では一年を通して花を集める鳥の姿が見られました。特に春の花鳥が一緒にいることがないのはなぜでしょう。ここ数年、野外では一年を通して花を集める鳥の姿が見られました。特に春の花鳥が一緒にいることがないのはなぜでしょう。ここ数年、野外では一年を通して花を集める鳥の姿が見られました。特に春の花鳥が一緒にいることがないのはなぜでしょう。ここ数年、野外では一年を通して花を集める鳥の姿が見られました。特に春の花鳥が一緒にいることがないのはなぜでしょう。ここ数年、野外では一年を通して花を集める鳥の姿が見られました。特に春の花鳥が一緒にいることがないのはなぜでしょう。ここ数年、野外では一年を通して花を集める鳥の姿が見られました。特に春の花鳥が一緒にいることがあるのです。
春は寒く、花が咲きません。いつも花が咲いている常夏の国に棲む花
是食の鳥には、棲息しにくい環境と言われます。また日本と同じように
四季の異なるカナダや北米でハチドリを見たことがあるのですが、海に
間まれた日本と違って、北米と中南米では陸続きです。寒く、花が
開まります。鳥たちは南に移動するということも考えられることは、
花に集まる鳥が少ないことに気づき、逆に日本が自然と
そこに棲む鳥の素晴らしさを再認識することになりました。ユーラシア
大陸の東に位置する日本は南北に長く延びており、三十字に及ぶ鳥
や花を通じて様々な鳥を見ることができます。ただ、近
年に撮影を通して、これらの鳥が季節の姿
を美しくまとめるのが醍醐味。写真は違うのです。レンズを通してま
何が発見するか楽しみに、各地で撮影を続けていきたい。

エジプトタイヨウチョウ
9㎝
タイヨウチョウ科
中東に分布。冬羽はメスと同色地味な色。繁殖期にはオスの尾が伸び
体長15センチ。また頭部は金属光沢のある黒色。脇部は鮮やかな黄色

シロエリハチドリ
12㎝
ハチドリ科
全世界約40種というと言われる
ハチドリの中では大きめ。メキジ南部から
南のボリビアやブラジル中南部まで広く分布する
の高い樹木に生えた草生植物の花蜜などを
好むため、低い位置での観察が難しい。